

人間文化学部 国際コミュニケーション学科

Department of INTERCULTURAL COMMUNICATIONS

複雑化・多様化する社会で活躍できる
国際的視野と語学力を身につけます。

实用レベルの語学力を身につけて世界へ。
ここは夢を実現するための場所。

海外留学への強い思いから、国際コミュニケーション学科の充実した留学制度に魅かれて滋賀県立大学を志望しました。入学後は、国際協力論をはじめ興味もてる授業を選ぶことができましたし、英語の資料を読んだり、授業を英語で受けたり、レポートを英語で書いたりして、英語に慣れ親しむうちに語学力が伸びていきました。学科には、課外活動で留学生の支援をしている友人やフェアトレードの実現に向けて取り組んでいる友人などいて、それぞれの視点で世界に目を向けており、自分と同じようなことに関心を抱いている人たちと意見を交わすことができます。そのようなことから、おのずと、何かを目指そうという気持ちになれる環境といえます。留学するという夢も実現し、そのため1年間口サンゼルスで学ぶ機会が得られました。当初は馴染めずにつらい思いをしたこともありましたが、日本から親身に支えてくださった指導教員のおかげで乗り越えることができ、英語の上達はもちろん人としても成長できたと感じています。将来は、日本語と3歳まで過ごしたブラジルの言葉であるポルトガル語、そして英語を活かし、活躍の場を世界に求めたいと考えています。

人間文化学部 国際コミュニケーション学科4年生
南崎 小百合さん / 滋賀県立八日市高等学校出身



◆アドミッションポリシー

国際コミュニケーション学科は、グローバル化する現代社会において、広く活躍できる見識とコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目標としています。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

求める学生像

- ①英語もしくは他の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、モンゴル語など）について高い運用能力を身につけるために必要な語学力を有する人（知識・理解、技術・技能）
- ②幅広い知識や教養の基盤となる国語、地理歴史または公民、数学または理科についての基礎学力を有する人（知識・理解）
- ③本国および諸外国の社会・文化・歴史等への強い関心と学習への意欲を有する人（関心・意欲）
- ④自分の考えや意見を積極的に提示し、相手の理解を得るための基礎的な能力を有している人（表現力）
- ⑤グローバル化によって発生する課題について、人々との交流を通して、自らの見解を形成しようとする姿勢を有する人（協働性）

◆学びのポイント

国際社会では英語ができることに加えて、さらに何ができるかということが問われます。本学科では「英語プラスワン」を合言葉にして、英語以外の言語（ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、モンゴル語）もしっかりと学習できるようになっています。2年次の後期から1年間の海外留学（中期・短期もあります）を推奨していますので、その準備をするために短期間で集中して外国語の実践力を身につけるカリキュラムを用意しています。また長期的な展望をもって、言語のしくみや言語の背景にある社会・歴史・文化などについてもさまざまな角度から学び、他国の文化を知ることによって、別の観点から自国の文化への理解を深めることができます。

Point 1 異文化を理解し、体験する

海外留学などを通じて、語学力のみならず行動力や国際的感覚を身につけることができます。

Point 2 国際社会を理解する

異文化を理解するための方法論や国際的な視点から本国や他国の文化について学びます。

Point 3 外国語によるコミュニケーション能力の向上

充実した語学教育により、国際社会で通用するレベルの外国語の実践力を身につけます。



◆学びのステップ〈4年間の学習フロー〉



国際コミュニケーション学科 ってこんなところ

本学科では「英語プラスワン」を合言葉にして、英語以外の言語も積極的に学習します。また、海外留学を通じて、語学力のみならず行動力や国際的感覚を身につけることができます。そして、異文化を理解するための方法論や国際的な視点から自国や他国の文化への理解を深めることにも重きをおきます。

人間文化学部
国際コミュニケーション学科
呉 凌非 教授



▲アメリカ・アルマカレッジ (交換留学)

〈専門科目の例〉 講義

Introduction to Discussion & Debate

Students develop their discussion and debating skills on engaging topics that are often found in mass media. After an introduction to a broad theme, students read related articles and discuss each topic. They then hold a debate on some of the key issues.

English Lecture B: The Journey of English

In this course, students can explore the past, present and future of the English language. We study the development of English from a language spoken by the people of a small island in Europe to the global language it is today.

Public Speaking

In order to become more confident public speakers, students read and discuss practical advice for giving successful speeches. They then write their own speeches and practice delivering these, giving and receiving feedback on their performances.

アジア文化論・欧米文化論

アジア・欧米諸国の歴史と社会、思想、文学、宗教、芸術などに対する知識と理解を深めることを目指します。また、それらの国々や日本の文化の相互影響についても取り上げます。研究テーマの発見にもつながる「入門」的講義です。

文化人類学概論

文化人類学は、異文化理解のための学問であると同時に、自文化理解のための学問でもあります。日本の常識は世界の非常識といわれますが、皆さんの身の回りの常識は、果たして常識なのでしょうか。本講義ではこうした常識の自明性について再考し、「あたりまえ」的思考からの脱却を目指します。

多民族社会論

北米・中南米、中国、日本などについて、多民族社会という観点から理解を深め、国境を越えた人の移動に伴い多民族・多文化化する現代の世界や地域社会の課題に対応できる知と実践力を身につけることを目指します。

◆研究分野とスタッフ

○応用言語学

これまで個々に研究されていた言語学・教育学・心理学などの学問の境界を越えて多角的に言語を研究する学問です。具体的な言語データを実際の教室から収集し、その分析を通して言語習得を理論的に説明したり、教育現場に活かすことに結びつけたりします。言語をその背景を踏まえて考察する人文科学と社会科学の複合領域です。
(ジョン リビー教授、マーティン ホークス准教授)

○言語学

ヒトが使用する言語には、ヒト以外の生物のコミュニケーション手段とは質的に異なる特徴があります。言語学とは、人間言語の(形式)と(意味)との関係、歴史的な用法変化などの諸問題を、母語話者の言語直感(文法的容認度)、文献調査、電子データ化された言語資料等に基づいて科学的・理論的に分析し、ことばの不思議に迫る学問領域です。
(呉 凌非教授、小熊 猛教授、吉村 淳一准教授、中谷 博美講師)

○英文学

イギリスだけではなく広く英語圏の文学作品を読み、実用的コミュニケーションからはみ出す言葉の効果を研究します。言葉そのものの美しさをじっくり味わいながら作品を丁寧に読み、作品の歴史的背景や文化的状況を理解することを通して西欧の思想・文化・歴史の伝統の大きな流れを掴みます。
(山本 薫准教授)

○文化史・思想史

わたしたちが日頃、あたりまえのように親しんでいる様々な文化が、どのような時代的(社会的・政治的)背景において形作られてきたのかについて調べ、分析します。また、そのような文化の歴史が、当時の哲学的な思考とどのような連関を持っているのかについても考えます。
(谷口 真紀講師、橋本 周子講師)

○近現代史

近現代史は、歴史の当事者たちがまだ生きて語り尽くされてない部分がある研究分野です。また、激変する現代社会の方向性によって解釈がいろいろと変わることもありますので流動的な学問ともいえます。歴史を溯ることで現代社会を理解します。
(ボルジギン プレンサイン教授、河 かおる准教授)

○文化人類学

文化人類学は、個々の文化の特殊性と、人間存在の普遍的性格についての考察を積み重ねてきた学問といえるでしょう。それは、めぐるめくような文化の多様性の中に、人間存在の核のようなものを見つける作業といえるかもしれません。本学科のスタッフは、それぞれチベットとモンゴルを対象とし、人間とその文化についての考察を深めてきました。
(棚瀬 慈郎教授、島村 一平准教授)

CAMPUS LIFE ONE DAY 県大生の一日常

1日のスケジュール

- 8:30 通学
- 9:00 1限: Public Speaking
- 10:40 2限: アジア文化論
- 12:10 昼休み
- 13:10 3限: 英米文学概論
- 14:50 4限: 現代英文法
- 16:30 5限: 自習
- 18:00 課外活動

1限



英語を使って自然な形でスピーチできるように、原稿の作成をしたり、実践的な練習をしたりします。

4限



学校文法では教わらない知っておきたい英語のルールを学び、実践的な運用能力を高めます。

授業
PICK UP



基礎演習
(谷口研究室)



English Lecture B

フランス・オルレアン大学(交換留学)

ホストファミリー宅にて



フランス語コミュニケーションⅡB

カナダ・ビクトリア大学(派遣留学)

授業で日本食の特徴について紹介しているところ。



研究演習
(リビー研究室)



ドイツ語コミュニケーションⅡB

◆進路状況抜粋(2016~2018年度卒業生)

2012年に開設された学科で、2016年3月に第1期生が卒業しました。

◆学部卒業生就職先

- (株) 琵琶湖ホテル
- (株) 一条工務店
- 伊藤忠プラスチックス(株)
- イビデン(株)
- (株) インフィニトラベルインフォメーション
- 日本放送協会
- (株) 圓堂
- (株) 関西アーバン銀行
- キシステム(株)
- キャセイパシフィック航空
- 京セラドキュメントソリューションズ(株)
- (株) 京阪アーバンシステムズ
- 京阪ホテルズ&リゾーツ(株)
- (株) KSA インターナショナル
- 鴻池運輸(株)
- (株) 三社電機製作所
- (株) ジェイアール西日本ホテル開発
- (株) JTBグローバルマーケティング&トラベル
- 国立大学法人 滋賀医科大学
- (株) 滋賀銀行
- 島田商事(株)
- (株) ジャステック
- 上新電機(株)
- (株) ジンズ
- 全日本空輸(株)
- 高見(株)
- (株) たねや
- (株) 電算システム
- TOWA(株)
- 西鉄旅行(株)
- 日東物流(株)
- 日本電気硝子(株)
- 日本航空(株)
- 日本電産(株)
- パナソニック(株)
- (株) ハローホールディングス

◆進学先

- 兵庫教育大学大学院
- (株) 琵琶湖ホテル
- フォスター電機(株)
- 富士通(株)
- 古河AS(株)
- (株) ホテル京阪
- (株) 堀場製作所
- マルホ発條工業(株)
- (株) 村田製作所
- ヤンマー(株)
- 朝来市
- 和泉市
- 岡山県教育委員会
- 京都市
- 滋賀県教育委員会
- 千葉県教育委員会
- 長野県教育委員会
- 長浜市
- 東近江市

取得可能な資格一覧※

- 教員免許: 中学校教諭一種(英語)
高等学校教諭一種(英語)
- 社会福祉士主任任用資格

OB & OG Message

国際コミュニケーション学科 2017年度卒業
勤務先: 日本放送協会(NHK)

川島 伝絵さん



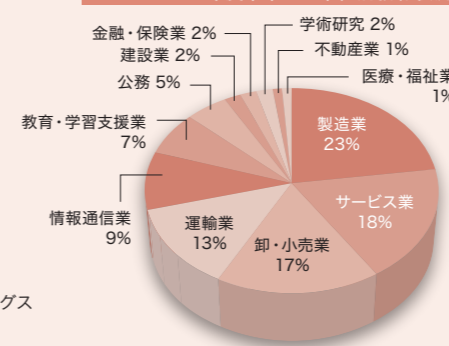
現在は、NHK横浜放送局に勤務し、経理・ITシステム管理・公開番組のイベント運営を担当しています。今後は広報や番組編成の業務にも携わる予定です。

学生時代に1年間のアメリカ留学や文化人類学ゼミで身に付けた「人と信頼関係を築く方法」は、今の仕事をする上でも非常に役立っています。ゼミでは、取り組みのひとつとして国内外で飛び込みインタビュー調査を行いました。初対面の人に心を開いてもらおうと試行錯誤を繰り返した結果、それぞれの特徴を素早く読み取り、臨機応変に対応できるようになりました。この学びは私の一生の宝物だと思っています。例えば、私が担当している経理やシステム管理などの仕事は、専門的な知識を要する分野です。もちろん私はゼロからのスタートでしたが、職場内外のひととの円滑なコミュニケーションを通じ、着実に知識を身につけ、業務を的確に遂行できるようになりました。

将来の目標は、「生きにくい」と感じている人や悩みを抱える子どもたちの支えとなるイベントを提案し、その実現を通じて社会の役に立ちたいと考えています。

(2019年1月現在)

2016~2018年度卒業生の業種別就職状況



※ すべての資格は、大学が定める所定の科目を履修し、単位を修得する必要があります。